

平成24年度第2回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

○日 時：平成24年11月14日（水）10:00～12:05

○場 所：自然科学研究機構／情報・システム研究機構 合同会議室

○出席者：金田機構長、青山、今西、宇野、大塚、小野、影山、木部、佐藤（宗）、須藤、立本、谷川、中尾、野家、平川の各評議員

○陪席者：栗城理事、石上理事、大崎機構長特別顧問、歴博管理部長、国文研管理部長、国語研管理部長、日文研管理部長、地球研管理部長、民博管理部長、本部事務局総務課長、同企画課長、同財務課長、同施設課長、同企画課課長補佐、同総務課総務係長、同総務課人事係長、同企画課企画評価係長、同総務課総務係員

○概 要：

議事に先立ち、事務局から、定足数を満たしている旨の報告があり、配付資料の確認がなされた。また、機構長から事務局の人事異動について、紹介があった。

1. 議題

(議事概要)

(1) 前回議事概要について(資料1)

機構長から、平成24年度第1回教育研究評議会議事概要について、議事概要署名人のご確認をいただいた旨報告があり、本評議会の同意を得た。

また、平成24年度第2回教育研究評議会の議事概要署名人として、青山評議員及び大塚評議員が選出された。

(審議事項)

(1) 人間文化研究機構評価委員会委員の選出について(資料2)

機構長から、資料2に基づき、人間文化研究機構評価委員会委員の選出について説明があり、教育研究評議会の外部委員から選出する委員として、酒井評議員が推薦され、了承された。

(2) 国文学研究資料館次期館長の選考について(資料3)

機構長から、資料3に基づき、国文学研究資料館長が平成25年3月31日限りで任期満了することに伴い、当該機関運営会議から次期館長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われた。また、機構長から、今後の機関の長の選考手続きに関し、説明があった。

(3) 国立国語研究所次期所長の選考について(資料3)

機構長から、資料3に基づき、国立国語研究所長が平成25年9月30日限りで任期満了することに伴い、当該機関運営会議から次期所長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われた。

(4) 国立民族学博物館次期館長の選考について(資料3)

機構長から、資料3に基づき、国立民族学博物館長が平成25年3月31日限りで任期満了することに伴い、当該機関運営会議から次期館長の推薦があった旨説明があり、各評議員への意見聴取が行われた。

(5) 改正労働契約法への対応について(資料4)

総務課長から、資料4に基づき、労働契約法の改正内容及び本機構の対応方針案等について説明があり、意見聴取が行われ、本対応方針案に沿って進めていくことが了承された。

(6) 総合地球環境学研究所研究推進戦略センターの組織改編に伴う人間文化研究機構関係規程等の一部改正について(資料5)

総務課長から、資料5に基づき、総合地球環境学研究所研究推進戦略センターの組織改編の概要及び組織改編に伴う関係規程の改正内容について説明があった。また、総合地球環境学研究所長の立本評議員から、改編後の組織体制等の具体的内容について補足説明があり、審議の結果、了承された。

(報告事項)

(1) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価の結果について(資料6)

中尾理事から、資料6に基づき、本機構の評価に係る全体的評価・項目別評価及び国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況で取り上げられた取組等について報告があった。

(2) 平成25年度概算要求について(資料7)

中尾理事から、資料7に基づき、本機構の概算要求事項について、特別経費及び施設整備費を中心に報告があった。また、新規事項として、大規模学術フロンティア促進事業「日本語の歴史的典籍のデータベース構築計画」を要求している旨、報告があった。

(3) 機構長裁量経費配分について

機構長から、機構長裁量経費について、総合研究推進委員会からの要望を踏まえ、国際交流事業に対しても配分することとし、平成24年度第2回の配分においては、総合地球環境学研究所から要望された国際交流事業に配分した旨、報告があった。

(4) 総合研究推進委員会の進捗状況について(資料8)

中尾理事から、資料8に基づき、総合研究推進委員会における各機関及び本部が推進している事業における課題と展望の検討状況及び今後の予定について報告があった。

(5) 人間文化研究機構大学院教育協力会議設置要項について(資料9)

小野理事から、資料9に基づき、人間文化研究機構大学院教育協力会議の設置要項について説明があり、本大学院教育協力会議とは別に、他の大学共同利用機関法人等との間でも総合研究大学院大学との協力について検討している旨、報告があった。

(6) 第2期連携研究中間実績評価等について(資料10)

小野理事から、資料10に基づき、第2期連携研究中間実績評価及び日本関連在外資料調査研究事業中間実績評価について説明があり、特に、評価の主要項目として第2期連携研究中間実績評価は「連携の効果(連携による新たな視座の開拓、高度化)」及び「機構外研究者の有機的参画」、日本関連調査研究事業中間実績評価は「在外資料の目録及びデータベース作成と公開の状況」が設定されている旨、報告があった。

(7) 日本関連在外資料調査研究事業に係る海外研究機関等との研究協力協定等について(資料11)

小野理事から、資料11に基づき、コンスタンティン・フォン・ブランデンシュタイン家、ルール大学ボーフム及びウェールズ国立博物館と日本関連在外資料に係る協定が締結された旨、報告があった。

以上、この教育研究評議会議事概要を確認し、以下に署名捺印する。

平成24年12月25日

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

署名人 評議員

青 山 宏 夫

署名人 評議員

大 塚 柳 太 郎

(8) 人文学センター研究院コンソーシアム (CHCI) への加盟について (資料12)

中尾理事から、資料12に基づき、情報収集及び機構の情報発信の一手段として、Consortium of Humanities Centers and Institutes に加盟した旨、報告があった。

また、機構長から、11月に台湾で開催された Asian New Humanities Net の総会へ参加した旨、報告があった。

(9) 人間文化研究機構第19回公開講演会・シンポジウムの実施報告について (資料13)

石上理事から、資料13に基づき、全国4カ所で公開講演会・シンポジウムを開催した旨、報告があった。また、シンポジウムの内容をまとめた広報誌『人間文化』については、4カ所で開催したシンポジウムを一つにまとめた上で公開する旨、報告があった。

(10) 情報誌『HUMAN』vol. 3の刊行について

小野理事から、情報誌『HUMAN』vol. 3について、「災害と人文学研究」をテーマに、12月に刊行する旨、報告があった。

(11) 平成25年度計画作成及び平成24年度内部評価作業スケジュールについて (資料14)

企画課長から、資料14に基づき、平成25年度計画作成及び平成24年度内部評価作業に係る今後のスケジュールについて報告があった。

(12) 人間文化研究機構日本研究功労賞について (資料15)

機構長から、資料15に基づき、人間文化研究機構日本研究功労賞選考委員会の審査選考の結果、第2回人間文化研究機構日本研究功労賞受賞者を決定した旨、報告があった。また、平成24年12月6日に日本学士院において行われる授賞式・記念講演等について案内があった。

(13) 社会の期待に応える教育改革の推進について (資料16)

機構長から、資料16に基づき、現在、文部科学省が進めている国立大学のミッションの再定義について、報告があった。

(14) 研究教育職員の人事異動について (資料17)

総務課長から、資料17に基づき、平成24年度上半期における研究教育職員の人事異動について報告があった。

(その他)

(1) 次回開催日程について

機構長から、平成24年度第3回教育研究評議会を平成25年3月21日(木)10時から開催することが確認された。